

オーディオ実験室収載

アンチスタティックの効果(3) (HP 収載)

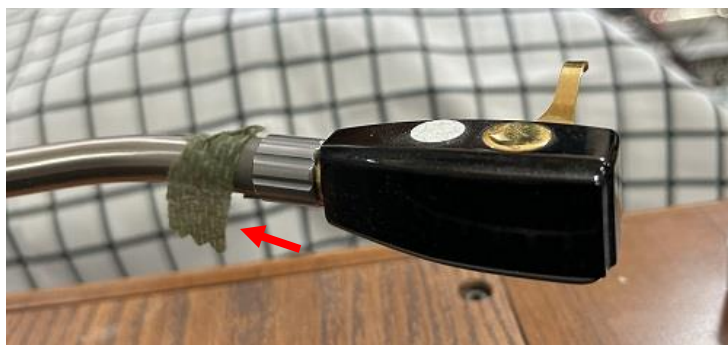
1. 始めに

前報(2)に引き続きレコードアンチスタティックの効果調べていきます。

2. アンチスタティックの試聴方法

今回は、除電機能を有するごみ取りブラシの ANALOG RELAX の除電ブラシを使用し、ターンテーブルシートは前報(1)と同じ Achromat を用いた Garrad401 のシステムを対象とします。

レコードアンチスタティックはアームの FR-64S にセットします。



音源は前報(2)と同じく、下記を使用します。

LONDON 360R 56009

モーツアルト ディヴェルティメント第 17 番

ウィリー・ボスコフスキー指揮ウィーンモーツアルト合奏団

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein (Violin)

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

3. アンチスタティックの試聴結果

試聴はレコードアンチスタティックなしの状態聴いておき、レコードアンチスタティックをセットした後に再び試聴します。

Garrad401 の直近の状態は、Garrad401 の再構成(21)で報告したとおり、カートリッジの変更と設置位置の変更がありますが、その他は変わりなく、フォノステージの

Leak Point1 はアースアキュライザーで仮想アースに接続しています。

モーツアルトのディヴェルティメント第 17 番は、レコードアンチスタティックのセット前でも繊細な表現は前報(2)の SPU Royal N には及びませんが、ウォームな音を聴かせてくれています。レコードアンチスタティックをセットにより、ウォームながらコントラバスのピチカートも明瞭になり、緻密な表現も向上し、先の SPU Royal N に近づいた印象です。

Bach の **Sonatas & Partitas** は、レコードアンチスタティックのセット前でも SPU らしい落ち着いたくっきりとしたボウイングが再現されています。レコードアンチスタティックのセットにより、くっきりとはしていますが、より緻密で精度の高いボウイングが聴かれます。

ベートーヴェンの選帝侯のソナタは、レコードアンチスタティックのセット前でも SPU らしい力強いダイナミックな演奏です。レコードアンチスタティックのセットにより、力強い打鍵はそのままに、音の精度が上がり、より迫力が向上します。

4. まとめ

レコードアンチスタティックの **Garrad401** のアーム **FR-64S** へのセットの効果を認めました。

以上

以上